

## Accell/SQL for ORACLE Release 8.2 ( Unix ) インストールガイド

### インストールの前に

- ・ 本リリースをインストールし動作させるにはライセンスキーが必要ですので、インストールを行う前にサポートセンタより取得してください。  
インストールの際のソフトウェアのライセンス付与で、以下の情報の入力が必要となります。  
シリアル番号：  
ライセンスキー：
- ・ 本リリースをインストールするには、添付のリリースノートに記載されたディスク容量が必要になります。インストールする前に、十分な空きディスク領域を確保するようお願い致します。
- ・ **使用する RDBMS にアクセスする為の環境がセットアップされていることを確認して下さい。**  
ORACLE\_HOME、ORACLE\_SID、NLS\_LANG、ORA\_NLS33 環境変数を正しく設定して下さい。  
LD\_LIBRARY\_PATH 環境変数 に、\$ORACLE\_HOME/lib ディレクトリを含めておく必要があります。(HP-UX、AIX では SHLIB\_PATH 環境変数となります)  
インストールの際に、ORACLE の DB 管理者のユーザ名とパスワードの入力が必要です。  
また、eWave Engine アプリケーションサーバを同時にインストールする場合は、PATH 環境変数に \$ORACLE\_HOME/bin を含めておかなければなりません。  
SQL を使用してデータベースにアクセス出来ることを確認してから Accell/SQL をインストールします。

### Accell/SQL for ORACLE のインストール

次の手順にしたがってインストール作業を行ってください。なお、作業はスーパーユーザで実行します。もし、ご不明な点がございましたら、お買い上げいただいた代理店もしくは弊社サポートセンタまでご連絡下さい。

## CD-ROM からのインストール手順

以下は、CD-ROM からインストール行う場合の実行手順です。

### Step 1

CD メディアを挿入した CD-ROM をマウントして下さい。その後、CD-ROM のリリースのルートディレクトリに移動します。

[例]

```
# cd /cdrom/cdrom0
# ls -cF
  apps/      diag/      include/   lib/       tutorial/
  bin/       eWave/    install/   reports/   util/
```

### Step 2

`/usr/unify` ディレクトリを作成し、パーミッション `777` を付与します。このディレクトリ下にはインストールの実行によりライセンス情報関連ファイルが作成されます。

```
# mkdir -m 777 /usr/unify
```

### Step 3

インストール・ユーティリティを実行します。

```
# install/install
```

### Step 4

以下のメッセージが表示されます。y を入力してください。

```
The directory /cdrom/xxxxxxx is not writeable.
Do you want to copy the release to a different location <y/n>? y
```

### Step 5

リリースをインストールするディレクトリ名 (例 `/home/asql`) を入力します。

```
Enter the destination (target) directory.
If the directory does not exist, it will be created for you.
Target directory:
/home/asql
```

### Step 6

指定したディレクトリが存在しない場合は新規に作成されますので、y を入力してください。

```
The target directory /home/asql does not exist.
Do you want to create it <y/n>? y
```

指定したディレクトリが既に存在する場合は、そのディレクトリ下の全てのファイルが削除され、インストールが続行されます。削除しても問題が無い場合は、y を入力してください。削除すると問題があ

る場合は、n を入力しインストールを中断します。必要なファイルをセーブした後で再度インストールを初めから実行してください。

The target directory **/home/asql** already exists.

WARNING: All files will be removed from **/home/asql** !

Do you want to continue the installation <y/n>?

#### Step 7

CD-ROM より、リリースファイルがハードディスクにコピーされます。

Source Directory: /cdrom/xxxxxxx

Target Directory: **/home/asql**

Install is now copying xxx files from the unwriteable directory.

This may take a while. A dot will be printed for each file copied.

install ユーティリティは、インストールディレクトリに installmsgs という名前のファイルを作成します。installmsgs ファイルは、インストール中の進捗や状況に関するメッセージを記録します。インストール完了後、このファイルでインストールの結果を確認することができます。

#### Step 8

以下のメッセージが表示されます：

Return を入力してインストールを開始してください。

### INSTALLATION

Unify Corporation Products

Release 8.xx

---

(c) 1986 – 2001, Unify Corporation.

All rights reserved.

This installation script prepares all Unify products for usage.

After this installation, you can remove unlicensed products from the installed release. See the Installation Guide for information about the product removal scripts.

Install the following product(S):

ACCELL/SQL for ORACLE

Press <return> to begin installation, or 'x' to exit [<return>]:

#### Step 9

以下のメッセージが表示されます：

Conventions used and general information:

1) User input is obtained by both menus and prompts. Prompted

input always offers a default input value (in square brackets []); Menus always offer an exit. All input must be followed by a carriage return.

- 2) In general, if a task cannot be completed, you will be given the option of either continuing or terminating installation.
- 3) This utility is interruptible.
- 4) This utility can be rerun at any time.

Press <return> to continue installation, or 'x' to exit [<return>]:

Return を入力してインストールを開始し、リリースを読み込んで下さい。

#### Step 10

その後、プロダクトライセンスオプションを選択するプロンプトが表示されます。

Beginning installation on Tue Sep 24 16:27:15 JST 2002.

Beginning release files check for ACCELL/SQL for ORACLE:

Release files check successful.

#### Product Licensing

Select one of the following licensing options:

- 1) Enter license information now.
- 2) Continue installation and license the release later.
- 3) Push OS shell.
- 4) Terminate installation.

Selection:

**\*\*注\*\***ライセンスファイルを作成するために /usr/unify ディレクトリへの書き込み権限 が必要です。

#### Step 11

オプション 1 を選択した場合は、プロンプトからライセンス情報を入力して下さい。

Selection: 1

Enter your serial number ('s' to skip license): xxxxxx

Enter your license key ('s' to skip license):xxxxxx-xxxxxx-xxxxxx-xxxxxx-xxxxxx

License key entered:

Serial : xxxxxx

License Key : xxxxxx-xxxxxx-xxxxxx-xxxxxx-xxxxxx

Do you want to use these license values? ([y]/n)

Product licensing procedure successful.

Press <RETURN> to continue...

ライセンスキー情報の確認後、ライセンスキー値は \$UNIFY/license.key ファイルに書き込まれ、また /usr/unify にもライセンス関連のファイルが作成されます。

Return を入力して次へ進みます。

#### Step 12

続いて以下のプロンプトが表示されますので、日本語のキャラクタセットを選択する場合は、1 (EUC) もしくは 2 (SJIS) を選択して下さい。Return のみを入力した場合は、英語のキャラクタセットが選択されます。

Please choose default character code set [0:Others, 1:EUC, 2:SJIS]: 1

#### Step 13

ORACLE\_HOME 環境変数が設定されていない場合、以下のメッセージが表示されます。

ORACLE\_HOME 環境変数を入力してください。

確認のメッセージが表示されますので、y を入力してください。

```
install: The ORACLE_HOME environment variable is not set.
```

```
install: Enter the value of ORACLE_HOME:/home/oracle
```

```
ORACLE_HOME has been set to: /home/oracle
```

```
Is this correct? ([y]/n) y
```

#### Step 14

ORACLE\_SID 環境変数が設定されていない場合、以下のメッセージが表示されます。

ORACLE\_SID 環境変数を入力してください。

```
What should the default ORACLE_SID be? ora_sid
```

#### Step 15

以下のメッセージが表示されます。メニューハンドラと Accell エンパイロメントに関する DBUTIL テーブルをインストールする場合は y を入力してください。

```
Do you want to install the Menu Handler and Development
```

```
Environment tables at this time? ([y]/n)
```

#### Step 16

以下のメッセージが表示されます。UNIFY、ORACLE\_HOME、および、ORACLE\_SID の設定値が正しい場合は y を入力してください。

```
Beginning database preparation...
```

```
Beginning database preparation (prep_db4acl).
```

```
This utility will be run with the following parameters:
```

```
UNIFY           : /usr/asql/lib
```

```
ORACLE_HOME     : /home/oracle
```

```
ORACLE_SID      : ora_sid
```

Do you want to continue ([y]/n) ?

**備考：** Prep\_db4acl により、指定したデータベースに下記のタスクを実行します。

- Accell/SQL チュートリアル の TUTORIAL テーブルを追加
- メニューハンドラと Accell エンバイロメントに関する DBUTIL テーブルを追加
- DBUTIL ビューを追加
- 2 ユーザ、TUTORIAL と DBUTIL を追加

#### Step 17

以下のメッセージが表示されます。ORACLE の DB 管理者のパスワードを入力してください。

```
Installing Tutorial and Menu Handler in database 'ora_sid'.
```

```
<省略>
```

```
Enter the ORACLE system administrator's password:
```

```
Database Login
```

```
Username: system
```

```
Password:
```

#### Step 18

以下のメッセージが表示されます。TUTORIAL テーブルを追加したい時は y を入力してください。

```
Do you want to add the TUTORIAL tables ([y]/n)?
```

以下のメッセージが表示されます。

```
Creating the 'accell' startup script....
```

```
Complete.
```

```
Creating the tutorial startup script...
```

```
Complete.
```

#### Step 19

以下のメッセージが表示されます。オプションを使用しない場合は n を入力してください。

```
Product Option installation
```

```
Do you want to run the utility 'opts.install' at this time? (y/[n])
```

#### Step 20

オプションの ACCELL/SQL の機能をインストールすることもできます。このオプション機能は Motif のデフォルトのリソースファイルやファイルタイプ情報を含みます。オプションのインストールを実行するユーティリティの名称は opts.install です。プロンプトに対して y を入力し、オプションの ACCELL/SQL の機能をインストールします。

opts.install ユーティリティのインストールに関しては、マニュアル ACCELL/SQL: Setting Up a User Environment の Appendix "The opts.install Utility" を参照して下さい。

リリースのインストールが完了後、`opts.install` ユーティリティを実行してオプションの ACCELL/SQL の機能をインストールすることもできます。

#### Step 21

リリースに ACCELL/Web が含まれる場合は、Unify eWave Engine のインストールに続くプロンプトが表示されます。Unify eWave Engine では Java Development Kit (JDK) もしくは the Java Runtime Environment (JRE)の環境を必要とします。インストールプログラムが、有効な JDK、JRE リリースを確認できない場合、その場所を入力するプロンプトが表示されます。JDK、JRE のどちらかが確認された後、Unify eWave Engine のインストールディレクトリを選択することができます。

Unify eWave Engine のシステム要件に関する詳細は、以下の URL を参照して下さい。

[http://www.unify-jp.com/ewave/pdf/BeforeYouStart\\_J.pdf](http://www.unify-jp.com/ewave/pdf/BeforeYouStart_J.pdf)

#### Step 22

`install` ユーティリティが終了すると、ユーティリティは完了メッセージを表示します。

```
ACCELL/SQL for ORACLE
```

```
installation completed on 2002 年 06 月 04 日 (火) 16 時 51 分 12 秒 JST.
```

### ライセンス状況の確認

`prlcinf` ユーティリティを使って、リリースのライセンス状況を確認して下さい

```
$ACCLDIR/diag/prlcinf
```

### 不要なリリースファイルの削除

不必要なリリースファイルを削除します

このソフトウェアは、リリースの不必要な部分を削除するためのスクリプトを提供しています。

実行スクリプト名	削除されるファイル
<code>rmacldev</code>	ACCELL/SQL 開発用のファイルを全て削除
<code>rmacl</code>	ACCELL/SQL 用のファイルを全て削除
<code>rmu2kdev</code>	Unify DataServer DB Access 開発用のファイルを全て削除
<code>rmu2ksvr</code>	Unify DataServer サーバのファイルを全て削除

ライセンスを受けたソフトウェアのリリースにあわせて削除用のスクリプトファイルを使用し、不要なリリースファイルを削除してください。

### `instlic` ユーティリティ

インストール後にライセンス許可を行う方法は以下の通りです。

#### Step 1

コンフィギュレーション変数 UNIFY に ACCELL/SQL の lib ディレクトリのフルパス名が指定されているか、確認して下さい。

例：\$ACCLDIR/lib

## Step 2

/usr/unify ディレクトリに書き込み権限があるか、確認して下さい。

## Step 3

\$PATH コンフィギュレーション変数に\$ACLDIR/bin ディレクトリのフルパス名が含まれているか、確認して下さい。

例:\$ACLDIR/bin:\$PATH

## Step 4

instlic を開始します。instlic コーティリティは以下の構文です:

instlic -f filename

-s serial -k key

-f filename filename で指定されたファイルから、ライセンス情報を検索することを指示します。

-s serial 指定されたシリアル番号を使用することを指示します。

-k key 指定されたライセンスキーを使用することを指示します。

-f オプション、もしくは -s/-k オプションの組み合わせのどちらかを使用してライセンスキー情報を指定する必要があります。

## Step 5

prlcinf コーティリティを使用して、リリースのライセンス状況をチェックして下さい。

diag/prlcinf

### テープからのインストール手順

テープからリリースを読み込むには、まずメディアからリリースファイルを展開し、その後、展開したファイルをインストールします。

### メディアが 1 本だけの場合

#### Step 1

リリースのメディアが 1 本だけの場合、アーカイブコマンドを使用してメディアから全てのファイルを読み込みます。

tar options device

または

cpio options < device

options tar または cpio コマンド

device 使用するシステムメディアデバイスの完全パス名

#### Step 2

install/install を実行します。その後は **CD-ROM からのインストール手順** の Step 8 を参照してください。



## メディアが2本以上の場合

### Step 1

リリースのメディアが2本以上の場合、アーカイブコマンドを使用してまず1本目のメディアから全てのファイルを読み込みます。

```
tar options device
```

または

```
cpio options < device
```

options tar または cpio コマンド

device 使用するシステムメディアデバイスの完全パス名

### Step 2

install/extract ユーティリティを使用して、リリースの残りの部分を読み込みます。

1本目のメディアを読み込み時に、extract ユーティリティは install ディレクトリにコピーされています。

```
install/extract
```

extract ユーティリティはリリースを読み込むためのデバイス名を入力するプロンプトを表示します。

このリリースの読み込みに使用するデバイスのフルパス名を入力して下さい。

以下のメッセージが表示されます:

```
To read in the rest of the release, type <y> after inserting
each media-name. After all media-names have been read in,
type <n>.
```

リリースの残りを読み込むには、それぞれのメディアを挿入して 'y'を入力して下さい。

全てのメディアが読み込まれたら 'n'を入力して下さい。

```
Enter <y> after inserting the next media-name.
```

```
If there are no more, enter <n>.
```

次のメディアを挿入して 'y'を入力して下さい。読み込むメディアがない場合は 'n'を入力して下さい。

```
Insert the next sequential volume and enter y. Repeat this step until all
release volumes have been read in, then enter n.
```

次のメディアを挿入して 'y'を入力します。全メディアの読み込まれるまで

このステップを繰り返し、最後に 'n'を入力します。

### Step 3

以下のメッセージが表示されます。その後は **CD-ROM からのインストール手順** の Step 8 を参照してください。

```
Press <return> to begin installation, or 'x' to exit [<return>]:
```

## UPDATE-KIT のインストール

本リリースのインストール完了後、インストール先のディレクトリの下に "UPDATE" という

名前のディレクトリが存在する場合は本リリースにはアップデートキットが付いています。  
本リリースをご使用前に必ずアップデートキットをインストールして下さい。  
アップデートキットのインストール方法につきましては該当するアップデートキット用の  
リリースノート、または、 "UPDATE"ディレクトリの下での"README.xxxx"(xxxx はバグフィックス番号)  
をご参照下さい。

以上